

## バクスマー一点鼻粉末剤 3mg

### 【この薬は？】

販売名	バクスマー一点鼻粉末剤 3mg Baqsimi Nasal Powder 3mg
一般名	グルカゴン Glucagon
含有量 (1点鼻容器中)	3mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、低血糖時救急治療剤と呼ばれる点鼻粉末剤です。
- ・ この薬は、肝臓に働きかけてブドウ糖の放出を促し、血糖値を上昇させます。
- ・ 次の目的で処方されます。

#### 低血糖時の救急処置

- ・ 飢餓状態の人、副腎機能に異常がある人、低血糖が頻発する人、一部の糖原病の人、肝硬変の人などでは、この薬の効果がほとんど期待できません。また、アルコールを飲んでいて低血糖症を起こした場合、この薬の効果はみられません。
- ・ この薬は、医療機関において、適切な教育を受けた患者さんまたは家族の方は、投与できます。自己判断で量を加減したりせず、医師の指示に従ってください。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 褐色細胞腫がある人
- ・ 過去にバクスミー点鼻粉末剤 3mg に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ インスリノーマのある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は鼻腔（びくう）内に使用する点鼻粉末剤です。

### ●使用量および回数

通常、1回 3mg（1点鼻容器）を鼻腔内に投与します。

### ●どのように使用するか？

- ・ 鼻腔の粘膜へ噴霧してください。具体的な使用方法など、詳しくは巻末の取扱説明書をお読みください。
- ・ 1点鼻容器は1回限りの使用です。

### ●効果が不十分な場合の対応

- ・ 症状が改善しない場合は、ブドウ糖の静脈内注射などの適切な処置が必要です。ただちに受診してください。
- ・ 追加でこの薬を投与しても、効果の増大は認められません。追加投与は行わないでください。
- ・ 回復した場合でも、できるだけ糖質を摂るようにしてください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・ 悪心・嘔吐（おうと）（吐き気、胸やけ、嘔吐など）、消化管運動抑制、血圧上昇、脈拍数増加および血清カリウム低下（脱力感、筋力の低下、意識の低下など）があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、ただちに受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬を使用するにあたっては、投与方法や保管方法、低血糖について、患者さんまたはご家族の方は十分に理解できるまで説明を受けてください。
- 低血糖症状：  
脱力感、強い空腹感、冷や汗、動悸（どうき）、手足のふるえ、意識が薄れるなど  
低血糖症状があらわれた場合の対応：
  - 通常は糖質を含む食品や砂糖を飲食してください。
  - $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ミグリトール、ボグリボース [配合剤を含む]）を併用している場合は、ブドウ糖を飲食してください。
- この薬の投与で症状が改善しても、低血糖の再発や症状が長引くことで、めまい、ふらつき、意識障害を起こすことがあります。高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には注意してください。
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- 授乳をしている人は医師に相談してください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック しょくく	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー あなふいらきしー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ
胸部	動悸、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

## 【この薬の形は？】

販売名	バクスミー点鼻粉末剤 3mg
形状	 <p>薬剤の入った噴霧器を黄色の容器で包装した 1回使い切りの製剤</p>
性状	白色の粉末
内容量	グルカゴン 3 mg / 1点鼻容器中

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	グルカゴン
添加物	$\beta$ -シクロデキストリン、ドデシルホスホコリン

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・ 直射日光と湿気を避けて室温で保管してください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社： グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社

医薬情報問合せ窓口

0120-126-003<sup>\*1</sup>

03-4530-9843<sup>\*2</sup>

受付時間：9時00分～18時00分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)

\*1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。

\*2 IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。  
その際にはこちらの電話番号にお掛けください。

尚、通話料はお客様負担となります。

## 取扱説明書

# バクスマー®点鼻粉末剤3mg

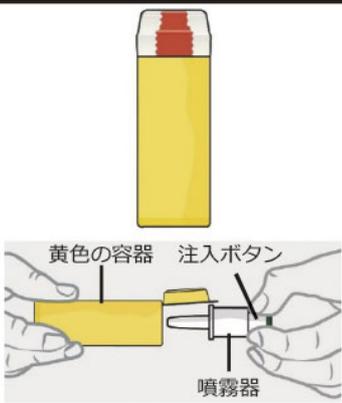
バクスマー®点鼻粉末剤3mg(以下、本剤)をご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

- 本剤は低血糖時の救急治療に用いる薬剤です。
- 本剤の処方を受けた際に、操作確認用デモキット等を用いた使用方法の説明を受けてください。
- **あなたに本剤が必要になった時に備え、ご家族が使用方法を事前に知っておく必要があります。**保管場所及び使用方法をご家族にお知らせください。

### ご使用になる前に以下のことにご注意ください

- 本剤を使用する直前まで包装用フィルムをはがさないでください。
- 黄色の容器が開いていると、吸湿により**本剤が正しく噴霧されなくなるおそれがあります。**
- 本剤は一回使い切りのグルカゴン点鼻粉末です。繰り返し使用することはできません。
- 本剤は鼻にのみ使用してください。

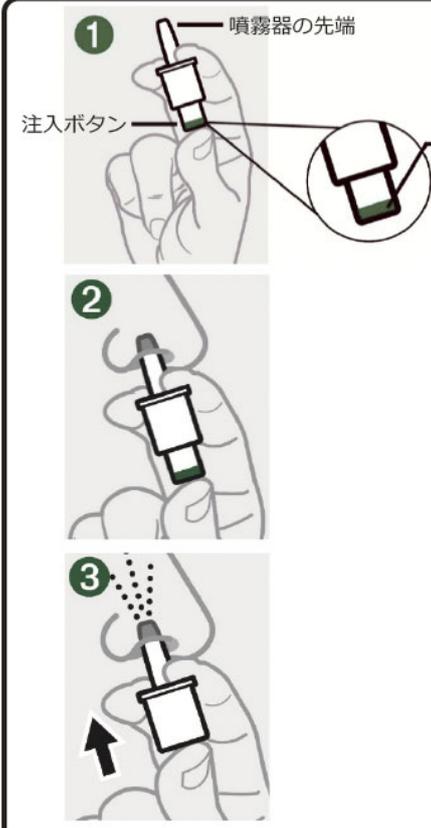
### 準備



- 赤色の部分を引っ張り、包装用フィルムをはがしてください。
- 黄色の容器のふたを開け、噴霧器をとりだします。

注意：噴霧する準備ができるまで注入ボタンを押さないでください。

## 噴霧



1 噴霧器の先端  
注入ボタン  
緑色の線

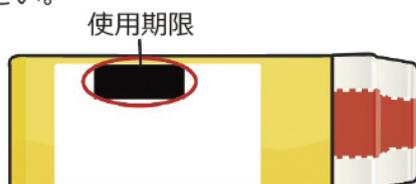
- 図のように親指と人差し指、中指で噴霧器を持ってください。試し打ちはしないでください。
- 人差し指又は中指が鼻に当たるまで、噴霧器の先端を片方の鼻の穴にゆっくり差し込んでください。
- 注入ボタンを最後まで押し切ってください。
- 緑色の線が見えなくなるまで押し込むと、噴霧が完了します。

## 投与のあと

- もし意識がない場合は、本剤投与後に横向きに寝かせてください。
- 噴霧器を鼻から抜き、噴霧器と黄色の容器を廃棄してください。
- 直ちに主治医と連絡をとり、医療機関を受診してください。
- 追加投与による効果は期待できないため、本剤又は他のグルカゴンの追加投与は行わないでください。
- 本剤の効果は一時的ですので、意識が回復したら、すみやかに糖分を摂取してください。

## 保存と取扱い方法

- 使用するまで包装用フィルムをはがしたり、黄色の容器を開けたりしないでください。
- 本剤は黄色の容器の包装用フィルムをつけたまま、室温で保存してください。
- 黄色の容器及び個装箱に表示されている使用期限が切れる前に、本剤の再処方を受けてください。



## その他

- ・ 注意：使用したあとは、必要時に備えすみやかに再処方を受けてください。
- ・ 本剤は子供の手の届かないところに保管してください。

## お問合せ先

ご質問等は、主治医にご相談いただくか、下記までお問い合わせください。

### グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社

医薬情報問合せ窓口

**0120-126-003**\*1

**03-4530-9843**\*2

受付時間(どちらの電話番号ともに)  
月曜日～金曜日 9:00～18:00\*3

- \*1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。
- \*2 IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。その際にはこちらの電話番号にお掛けください。尚、通話料はお客様負担となります。
- \*3 祝祭日および当社休日を除きます。

製造販売元

### グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル7F

®:登録商標

Copyright ©2024, Global Regulatory Partners. All rights reserved.

作成年月:2024年12月作成

MI-JP-BAQ-003

**GLOBAL**  
REGULATORY PARTNERS